



冒頭にあいさつをする樽松議長

愛労連 第2回評議員会

安倍政権と真っ向から 対決するたたかいかいを

6月4日、労働会館において第2回評議員会を開催しました。知崎事務局長から夏期闘争方針(案)について、①労働者・国民の生活を守り、要求実現のため、金闘争と公契約条例の

重点を組織拡大において活かし、大会以降に23名が加入した」と報告しました。愛知国公の阿部さんは、「定員削減が強行されてお

こそたたかう労働組合の存在が大切である」と発言。JMITUの大岩さんや名北労働の永田さんからは署名への協力について訴えがありました。全体で8人か

らの発言がありました。いずれも議案を補強するものであり、すべての議案が拍手で承認され、16夏季闘争に奮闘することが全体で確認されました。

②戦争法廃止をはじめとする安倍政権と真っ向から対決するたたかいかい。③残業代ゼロ法をはじめとする労働基準法改悪反対のとりくみ。④社会保障の充実と拡充、脱原発、TPP批准阻止のたたかいかいを強めることと中心的課題について提起されました。

組織拡大で紙芝居やDVDを作成して活用

若者の受けとりがいい!

組織拡大目指し権利手帳を駅頭配布



堀田駅で瑞穂区労連が配布

5月に春の組織拡大月間の一環として地域総行動規模で「権利手帳」の早朝駅頭配布を行いました。このとりくみは初めてでしたが、各地域労連が積極的にうけとめて14の地域労連と愛高教が約1万5千部を配

布しました。どの地域からも権利手帳は好評で、特に高校生や若い人が好意的に受け取ってくると報告がありました。高校生のグループに「バイト先で活用してね」と声をかけると、興味しんしんで見ていたそうです。さらに、おばあちゃんに「お孫さんにどうぞ」と手渡しと他の孫にも渡したいと数冊もって行かれたとの話もありました。

地域労連は地域の未組織労働者の最初の相談窓口になることも多く、困ったときの駆け込み寺です。引き続き、地域で地域労連の姿が目に見え、音に聞こえる存在であり続けることが求められます。

OPINION オピニオン

バブル景気を経験したことがある40代以上は、経済が成長すればくらしも良くなるという考えがアベノミ

社会的な賃金改善と 社会保障の改善を

指摘した。同世代にも断層のよくな格差が広がる。バブル後に社会人となつた40代以下は賃金が下

活の大半を賃金と企業内福利で支え、健康保険・年金も家族を扶養する仕組みになっている。しかし、非正規のなかには社会保険にも入れてもらえ

賃金がここまで変わっていないにもかかわらず、社会保障は旧態依然たる「保険」のままで。私たちが労働組合は企業内の賃上げだけに止まらず、

「今70代の方が現役のころは男性一人の給料で子ども二人を大学にやれたが、今の50代ではそんなことは不可能だ。人間らしい生活の保障を求める5・28集会で中京大の大内裕和教授は世代間の認識に大きな格差があることを指摘した。

クスの振りまく幻想に引張られてしまつてい

がり続けてきた。この世代では非正規割合が4割をこえ、同世代のなかにも断層のような大きな格差ができています。日本では家族も含め生

ない人も少なくない。真に社会保障と言えるものは生活保護しかない。「賃金+社会保障」で国民の生活を保障するのが現代社会だ。ところが

社会的な賃金改善と社会保障に目を向けていくことが求められている。人間らしい生活に向けて話し合いを

Advertisement for '無料! 労働相談110番' (Free! Labor Consultation 110). It includes contact information for the Aikoren Labor Consultation Center, such as phone number 052(881)1411 and email 110@airoren.gr.jp.

女性協ニュース NO. 16

女性部って大変...でも歴史と存在価値は大きい

東海北陸ブロック女性交流会を岐阜で開催

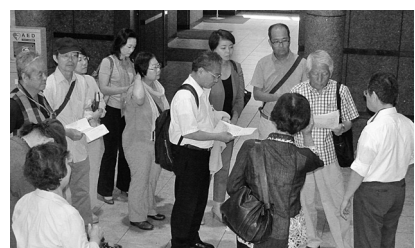


郡上一揆の寸劇と踊り ①、藍染め体験後に②

二つ目の学習では地元「郡上の歴史」として「郡上一揆」の内容について寸劇やスライドを使った話しを聞き、最後に郡上踊りを参加者全員で踊りました。

5月28日(土)、29日(日)、「全労連東海・北陸ブロック女性交流会inひるがの」が岐阜県の郡上市でおこなわれ、東海北陸5県(愛知4人、三重3人、富山1人、石川1人、岐阜26人、講師など10人)から36人が参加しました。

「サミット口実に小牧 空港にオスプレイが」ことではない」と居直りま



ロードオピニオン

サミット口実のオスプレイに抗議

「サミット口実に小牧 空港にオスプレイが」ことではない」と居直りま

電機・情報ユニオン愛知支部結成

電機情報関連産業の産別組合として愛労連にも加盟



結成大会に参加したみなさん

4月23日(土)、労働会館で電機・情報ユニオン愛知支部の結成大会が開催されました。大会には三菱電機、東芝、パナソニックの組合員など15人が参加。はじめに支部結成までの経過を愛知電機懇の泰原和雄事務局長が大会議案に基づいて報告しました。

来賓として愛労連の知崎事務局長や中央本部から西野健一副委員長、三菱派遣切り争議勝たせる会の本田直子事務局長がかけつけ、それぞれ激励のあいさつがありました。

討議では、三菱派遣切り

裁判をたたかってきた組合員から「三菱電機の社長に謝ってほしい」とたかいたを続けてきた。電機・情報ユニオン愛知支部結成を力にして解決したい」と決意が述べられました。

結成大会の後では愛労連への加盟問題も議論され、「とりあえず地域労連に加盟して活動してはどうか?」、「三菱派遣切り争議を解決するために県レベル、中央レベルの運動が必要」、「電機という産別を代表する労働組合として、愛労連に加盟すべき」と意見が出され、最終的に加盟を目指すことを確認。5月16日に代表の成木彦朗委員長が加盟申し込み書を愛労連に提出しました。

Topics

5/13

120人が集まった労働法制改悪に反対する集会で弁護士や労働組合員、介護職員などが現場の実態を赤裸々に語る

5/22

西尾市が業者1社に丸投げするPFI事業の契約について白紙撤回を求める市民集会に労組や市民ら500人集まる

5/28

人間らしい生活の保障を求める集会は貧困や社会保障など多彩な分科会後、大内裕和教授と竹信三恵子さんが対談

6/5

平和行進で名古屋市内14の集中行進と栄のピースアクション、折り鶴行進合わせて被爆者含む1900人が行動

みんなのとりくみ お寄せください

単産・単組や地域でのとりくみを写真(デジタルでも可)と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。詳しくは… TEL 052-871-5433(龍尾)まで E-mail post@airoren.gr.jp

春の自治体キャラバンで懇談

働くものの権利を守り 住民生活の向上を

愛知県を含む県下55自治体と懇談する「春の自治体キャラバン」が5月10日から30日までおこなわれました。懇談の内容は、非正規労働者の処遇改善や安心・

安全な公務・公共サービスの実現、公契約制度の適正化と憲法9条を守りいかに平和施策の充実です。さらに今年から「自衛隊新入隊員の激励会」への参加についての質問項目も増やしました。

5月11日に懇談した阿久比町では、自治体窓口の一般事務が最賃額の820円で募集されています。キャラバン隊長の自治労連伊藤慎次委員長は、「最賃額ではまともに暮らせないことは私たちの仲間が毎年とりくむ最賃生活体験で明らかになっていく」と切り出し、愛知の最低生計費結果を示して月額1300円必要であることを訴え、引き上げを求めました。

公契約条例制定に向け前向きな回答も

今年のキャラバンでは愛知県や豊橋市が制定した公契約条例に注目が集まりました。尾張旭市では「労働環境チェックシート」を実施しており、小牧市でも今後の予定とされています。半田市では県の導入効果や先進事例を注視しながら判断するなど前向きな回答が出されています。

半田市の懇談の様子

最賃の低さが社会問題になりつつあり、「最賃を1000円に」と安倍首相も言いだすなど法改正の期待が持てる情勢でもありません。このため、愛労連では生計費結果を持って、地元選出の国会議員の元へ要請行動もおこなっています。県下39人の議員のうち、

16最賃闘争では、2月の生活体験を皮切りに「最賃を今すぐ1000円に」とした個人署名や「全国一律最賃制度の実現を求める」法改正署名と「中小企業支援の拡充」を求める団体署名にとりくんでいます。

生計費結果にも関心が寄せられる

6月上旬までに32の事務所をまわりました。留守だった3カ所をのぞく29の議員事務所のうち、民進党の近藤昭一議員とは直接の懇談が実現。生計費リーフを提示して説明すると関心を示していました。

ほかに民進党の鈴木克昌議員や赤松広隆議員の事務所では秘書が丁寧に対応して共感を得られ、鈴木克昌事務所からは後日、団体署名と個人署名が送られてきました。

自民党の大見正議員の秘書は「820円は安いと思う」とのべ、神田憲次議員

た。このため、15年6月議会では、中小企業への支援拡充も盛り込んだ意見書を提出したところ、3度継続審議になりましたが、16年3月議会で否決されました。

16年6月議会には、雇用の安定も盛り込み提出します。5月には、3会派の議員への要請を行いました。ある議員に「愛労連の生計費調査結果のリーフレットを見せて、25歳単身で月額1300円以上は必要」、また全労連のリーフレットを使って、「日本の中小企業支援はフランス、アメリカに比べてとても貧弱。また最低賃金の決定に企業の『支払い能力論』があるのは日本だけ」と説明し、今すぐ1000円を実現、15000円をめざすべきだと訴えたところ、快く理解してもらえました。紹介議員を一人でも多く増やして、意見書採択を実現させ、地域から最賃引き上げの動きを作っていきたいです。

一宮地区労連は、本年から最賃と合わせて公契約条例制定にもとりくんでいます。労働者全体の底上げを通じて地域経済の好循環、活性化を実現すべく、今後もお奮闘していく決意です。(G)



山尾志桜里事務所での要請

地域労連 にゆーす

最賃引き上げで地域経済の好循環へ

【一宮地区労連】 NO.5

一宮地区労連が議会に意見書採択運動を展開



会派まわりをする地区労連の役員

一宮地区労連では、2014年から一宮市議会に最低賃金改善の意見書採択を要請する行動にとりくんでいます。1年目は各労働組合の単組や地域の民主団体からも団体署名に協力してもらいましたが、否決されました。2年目も3月議会で否決。その理由が「最賃を上げた中小企業は経営が成り立たない」ということでした。

16年6月議会には、雇用の安定も盛り込み提出します。5月には、3会派の議員への要請を行いました。ある議員に「愛労連の生計費調査結果のリーフレットを見せて、25歳単身で月額1300円以上は必要」、また全労連のリーフレットを使って、「日本の中小企業支援はフランス、アメリカに比べてとても貧弱。また最低賃金の決定に企業の『支払い能力論』があるのは日本だけ」と説明し、今すぐ1000円を実現、15000円をめざすべきだと訴えたところ、快く理解してもらえました。紹介議員を一人でも多く増やして、意見書採択を実現させ、地域から最賃引き上げの動きを作っていきたいです。

一宮地区労連は、本年から最賃と合わせて公契約条例制定にもとりくんでいます。労働者全体の底上げを通じて地域経済の好循環、活性化を実現すべく、今後もお奮闘していく決意です。(G)

愛労連 青年協

新人も先輩も一緒に なって砂浜遊びに大はしゃぎ



クレイションをしながら山海海岸に向かいました。

到着後、さっそく地元の方の説明・注意事項を聞き、二手に分かれて網を引き

途中、オスプレイが上空を通過したり、海で泳ぎ出す参加者がいたり、テントが飛んでしまうかと思うほど風が強くなるなどいろいろなアクシデントもありましたが、それらに負けずに砂浜での遊びを満喫した一日でした。

5月21日(土)に恒例となっている青年協新歓地引きツアーを南知多町山海海岸で開催しました。22人の青年が参加し、そのうち4人が新人でした。

地引き網のあとにはビーチバレー、サンドアート、スイカ割りなどで遊び、ピクニック気分を満喫しました。

おまほす

NO.109 海部・津島労連

横のつながりを大切に活動

海部・津島労連の今村事務局長にお話を伺いました。海部・津島労連は公務は愛高教と自治労連名水労が中心になり、民間は全国一般などが支え、活動しています。



今村 光重さん 海部・津島労連 (全国一般愛知地本)

今村さんは海部・津島労連で20年近く中心的な役割を担ってこられています。今村さんの活動の源は「困っている人を助けたい」

以前から労働相談を受けることが多く、会社と交渉したり、相談をきっかけに未組織の組合加入もあります。最近では今村さんの名刺が一人歩きして海部・津島地域以外からも相談されるようになってきたそうです。

サマーセミナー in 富山で会おうよ

友だち100人 つくらんまいけ!



昨年のサマーセミナー参加者

昨年愛知で開催され、100人を超える参加者を集めたサマーセミナーが今年も富山県で開催されます。日程は9月17日(土)・19日(月祝)、場所は富山県滑川市「東福寺野自然公園」。

今年は大自然の中、他県・他業種の青年と学習と交流をおこないます。今年のスローガンは「友だち100人つくらんまいけ(富山弁)」。仲間づくりをテーマにした構成となっており、初日の全体会で参加者の働き方交流をおこなう、仕事や組合活動でのやりがいや悩みなどをおしゃべりします。

みんなの声

講座スクーリング、平和学習が予定されています。東海4県で観光バスの乗り合わせを検討しているほか、詳細が決まり次第お知らせします。愛労連HPを要チェック!(サマーセミナー実行委員会発)

上ではやっぱり「平和」な世の中がかかせないと思います。29日には保育園問題、福祉現場の生の実態を街頭で訴えました。なんとしてでもこの夏の参議院選が勝負になると思うので、宣伝も頑張っていきたいです!

新役員紹介 同 平岩浩幸/同 伊佐地 修一/書記長 三好裕/書記次長 落合洋子

富山湾の遊覧でイルカと遭遇?! 二日目のお楽しみ企画、分科会では今年もバラエティ「たい」という思いです。以前から労働相談を受けることが多く、会社と交渉したり、相談をきっかけに未組織の組合加入もあります。

判断六法を購入しました。組合関係の文章を書く際、法令や判例を根拠としてあげるようになりまし。加藤豊裕・愛高教

18才選挙権については学校現場では空気感が全く感じとれない。私だけがそう思うのか?!生徒は目の前の受験しか!!(岡田尚・愛高教)

サミットの経済効果ばかりがとり上げられています。政治の本題の方も真剣に考えてほしいと思います。単なるイベントにおわりさせないよう、きちんとした議論を期待しています!

スマホを運転中に操作することが危ないと言われていますが、車でも自転車でも操作したり、しゃべっている人を見かけます。危ないよ、と言ってあげたい。(山下信子・建交労)

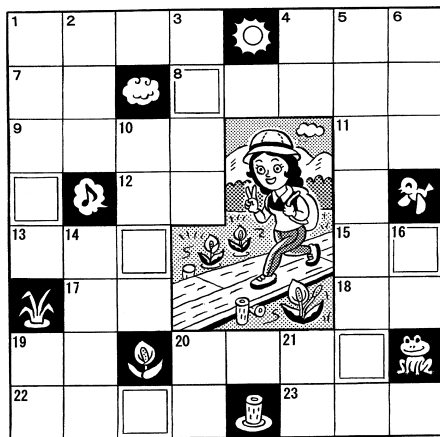
今後の主な日程

- パート・臨時労組連絡会第12回総会 6月18日(土) 13:30~ 労働会館本館2階会議室
わくわく講座開講式 6月19日(日) 10:00~ 労働会館本館2階会議室
安倍政権の暴走止めよう集会&デモ 6月19日(日) 13:00~ 久屋広場(栄)
愛労連女性協第27回定期総会 7月16日(土) 10:30~ 名古屋港湾会館会議室
あいち介護セミナー 7月31日(日) 10:00~ ウィンクあいち

クロスワードパズル

【解き方】イラストをヒントにして、二重枠の6文字をうまく並べてできる言葉は?

- ヨコのカギ ①.....模様をデザインした五輪エンブレム ④劇中の人物の言葉 ⑦ラッキー ⑧この夏こそ食べてみたい ⑨煙でいぶしていい味に ⑩草木も眠る.....三つ時 ⑫内側のこと ⑬歌「おお.....はみどり」 ⑮今年7月18日は.....の日 ⑰天変.....の自然災害 ⑱自分のやり方.....流 ⑲英語では「雨の弓」 ⑳今夏の参院選から「18歳以上」に.....権 ㉑靴の手入れの必需品 ㉒夏、紫外線を守るためにはこれが必要 です



【前号のクイズの答え】前号275号(6月号)のクロスワードパズルの答えは「アルキスマホ(歩きスマホ)」でした。正解者の中から抽選で右記の10名の方に図書カードをお送りします。

- 市橋 哲太 (全労働) 樽見 秀樹 (医労連) 松井 静保 (郵政ユニオン) 山下 信子 (建交労)
板倉 裕 (全労働) 鈴木 恒 (国交労組) 加藤 豊裕 (愛高教)
小野田 貴裕(国交労組)
※ハガキに答え、住所、氏名、組合名と近況が紙面に対する感想・意見などを記入の上、7月5日までに愛労連クイズ係 〒456-10006 名古屋港湾会館3F 労働会館東館3F 愛労連宛 まで応募下さい。いただいた中から近況や感想・氏名・組合名を紙面で紹介させていただきます。